

令和 5 年 9 月 26 日

原子力施設立地・隣接道府県

原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 殿

広島大学放射線災害医療総合支援センター長

廣 橋 伸 之

（公 印 省 略）

令和 5 年度 「甲状腺簡易測定研修（広島大学 第2回）」について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。

原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている 弘前大学、福島県立医科大学、長崎大学、広島大学、令和5年4月1日付けで新たに指定を受けた福井大学の6機関が分担して「甲状腺簡易測定研修」を開催します。

本研修は、甲状腺簡易測定を担う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するもので受講対象としては、原子力災害時に甲状腺測定を担当される方及びその可能性のある方が中心に受講いただくこととなります。

広島大学では、今年度4回の開催を計画しており、今回は第2回令和5年12月22日(金)のご案内です。

貴機関より、本研修受講対象者をご推薦の上、被ばく医療研修ポータルサイトからお申込みいただきますようお願いいたします。

なお、本学以外で開催されます研修につきましては、それぞれの開催機関から案内・募集要項が別途発出されますので、ご承知おきください。

研修の実施においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策及び衛生環境整備に努めてまいります。感染症拡大の状況等により研修の中止があることもご理解のほどお願いいたします。

広島大学 放射線災害医療総合支援センター 事務局

TEL : 082-257-5411 FAX : 082-257-5403

e-mail : iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp

iryo-hibaku@office.hiroshima-u.ac.jp